



9月定例市議会 市長所信

9月議会が9月6日から25日までの20日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されました。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。
また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することが出来ます。

地域医療に係る取組

今日における地方の医療は、病院の閉鎖や診療体制の縮小、救急患者の受け入れ不能など、医師不足を原因とした地域医療の崩壊が全国的に大きな問題となり、地域で必要な医療が受けられない事態に直面しています。

こうした状況は、本市においても例外でなく、平成21年3月には、市内で分娩を扱う医療機関が阿南共栄病院のみとなったほか、阿南医師会中央病院では医師数の減少により、平成21年4月から夜間における二次救急診療体制の縮小を余儀なくされています。

このように地域医療、特に救急医療が大きな危機に直面している今、医療を提供する側だけでなく、受ける側である市民、それらを支える行政が相互に協力し、地域全体で地域の医療を支えることが必要となってきています。

地域医療に係る諸課題につきまして、これまで阿南医師会中央病院、阿南共栄病院および阿南市の3者で構成する「阿南市の地域医療を考える会」において協議を重ねてきたところで

中心市街地活性化 広場公園整備事業

本事業は、中心市街地のにぎわいの創出と憩いの場としての活用を目的に、公園・緑地の整備を進めるもので、昨年度から社会資本整備総合交付金により、「牛岐城趾公園東口広場」「富岡あ石公園」「富岡西公園」の3カ所を取り組んでいるところです。

「牛岐城趾公園東口広場」は、新庁舎および公園周辺の景観改良を図るとともに、富岡商店街へのエントランス（入口）として、光のモニュメント、四阿、ベンチ等を整備するものです。この公園整備には、日亜化学工業株式会社から多額のご寄付をいただいております。今年度から用地交渉に着手し、平成27年度末の完成を見込んでいます。

「富岡あ石公園」は、ご寄付いただいた清原産婦人科病院跡地に、光のモニュメントや人工芝、ベンチなどを設置し、周辺住民の方々の憩いの場として整備するもので、今年度末には完成の予定です。

「富岡西公園」には、ストリートバスケットボールコートやトイレなどを整備することにより、隣接する浜の浦緑地との一体的な利用が可能となり、また、堤防沿いのLED電飾された桜並木と調和する光のモニュメントも設置する計画で、完成は平成26年度末の予定です。

これらの公園が、親子連れや買い物

が、新たに地域の医療資源の集約化による効率的な医療提供体制の確立を図り、市民の安全・安心に資することを目的に、市内の各種団体および関係機関を中心とした「阿南市地域医療確立対策協議会」を設立し、本市の医療の強化・充実をめざしてまいりますと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りたいと存じます。

日本女性会議〈男女共同参画〉2013あなん

「いきいきわくわく 小さなまちから新たなステージ！」をスローガンに掲げ、阿南市独自の取組として、市民・企業・行政の協働と連携でアイデアを出し合い、ボランティアの力を結集して準備を進めてきたところです。そして、これまでの間、多くの方々から非常に温かいご支援、ご協力を賜りようやくこころまでこぎ着けることができました。

市民ボランティアにつきましては、総数300人を超えるなかで、多くの女性リーダーが育ち、また、懸念して

新ごみ処理施設「エコパーク阿南」の本体工事および付属施設「エコーパーク阿南」の本体工事および付属施設

新ごみ処理施設「エコパーク阿南」の本体工事および付属施設につきましては、最終仕上げ段階まで順調に進捗してまいり、9月末には完了の予定です。

今後のスケジュールですが、10月31日に「火入れ式」を執り行い、11月から可燃ごみ、12月からは市のごみ収集車による資源ごみを受け入れし、試運転を開始する計画としています。

それに伴い、「阿南市クリーンセンター」での受け入れができなくなりま

すので、市民の皆さまには、随時、広報等で周知し、ご不便をおかけすることなく、円滑に業務移行ができるよう努めてまいります。

また、植栽等の外構工事につきましては、来年2月の完成をめざしており、4月からの運転開始に向け万全の体制で取り組んでいるところです。

現在、家庭ごみの分別区分に関する

いきました大会への参加者につきまして、全国各地から約2400人の申込みがありました。今後は、全国からの参加者に、「四国の小さなまちが素晴らしい大会をやり遂げた」といっていただけるよう、意を用いてまいらなければならぬと考えています。

第2回全国歴史の道会議 徳島県大会

本大会につきましては、これまで「歴史の道保存事業」に取り組んでいる地域の史跡や、文化財の保護と活用を援助するとともに、広く住民に公開し、「歴史の道」のみならず、文化財の保護に対する意識の高揚を図ることを目的としてまいりましたが、四国で初めての開催となります徳島県大会では、遍路道を核とした地域の人々の絆

情報につきましては、「広報あなん」への折り込みと、ホームページ等でお知らせしているところですが、生活様式が変化するなか、発生するごみの種類は多岐にわたっており、市民の方々からは、細かい分別や種別に関する問い合わせが多数寄せられています。こうしたことから、ごみの出し方のポイントや分別区分などについて、より分かりやすく、詳細に示したA4版・カラー印刷72ページの「阿南市家庭ごみ分別ガイドブック」を作成し、「エコパーク阿南」の試運転に合わせて11月上旬に全世帯に配布する予定です。

平成25年度国直轄事業 (道路関係事業)

一般国道55号阿南道路の那賀川町中島から西路見町までの全長2.1キロメートル区間におきましては、辰巳ランプを先頭に、朝夕の通勤時に交通渋滞が発生しており、消防車等の緊急車両もスムーズに通行できない状況となっております。

こうしたなか、平成24年度の補正予算によって4車線化に向けた事業に着手し、本年度予算では一般国道55号阿

と連携がテーマとなっております。

19日は、夢ホールにおいて午後1時から、「歴史の道の可能性」についての基調講演や記念講演、また、報告事例では、「加茂谷へんろ道の会」の横井代表が「遍路道の清掃活動とお接待」について発表されるなど、「阿波遍路道」にかかわる人々の熱い思いが語られるものと考えています。

翌日には、歴史の道ウォーキングを「阿南コース」と「勝浦コース」で開催し、「阿南コース」では、地元ボランティアグループの協力を得ながら、竹林と杉林の中に丁石と石室が点在する約4.4キロメートルの「かも道」を歩き、遍路道の歴史や魅力を体感していただきます。また、最終地点の太龍寺では、長い歴史のなかで守り継がれた「お接待」など独自の文化にも触れていただきたいと思います。

本大会は、古道の景観を今も色濃く残した、四国を代表する「歴史の道」をたどる絶好の機会でありますので、多くの方々に参加を呼びかけてまいりたいと考えています。

南道路全体で約5億円が配分されています。

本年度の工事内容につきましては、那賀川左岸側の中島地区では、中島オランプ橋の下部工の補強および上部工、中島高架橋の下部工・上部工の一部や地盤改良工事等を予定し、また、桑野川右岸側の原ヶ崎地区においても原ヶ崎高架橋の橋台、橋脚および擁壁工事等を予定しています。

なお、先般、本格的な工事着手に向けて、工事の工程や施工方法等について、地元関係者のご理解、ご協力を得るための工事説明会を各地区で行ったところです。

今後におきましても、関係機関等と連携を図りながら、国に対しまして積極的に要望活動等を行うなど、4車線化が一日も早く実現するよう取り組んでまいります。

※3Rとは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つの英語の頭文字を表しています。リデュースは、使用済みになったものが、なるべくごみとして廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること。リユースは、使用済みになっても、その中でもう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再使用すること。リサイクルは、再使用ができませんが再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再生利用することです。